

# 曾於文藝

うたごよみ

## 俳句

### 末吉俳句会

朝の日の動き初めたる寒木立

泊康

坂下る笹子の声と友の声

瀬戸内 紀子

一休みする切株や藪柑子

宮路 生大子

### 大陽俳句会

初刷りのクイズ番組脳トレに

鍋山 美智子

掃き寄せし落葉を風が舞はせたる

逆瀬川 節子

小正月息子と交はす赤ワイン

岩重 みどり

## 短歌

### 末吉短歌会

生き方も教はる側になりたり  
若き講師の朗々の講義

泊康

## 題字

末吉文化協会会員 瀬戸口 淳民氏

### 大陽短歌会

若きらの足枷たるは望まざり  
後期高齢とう呼ばれるも

西山 美代子

真夜中を三匹並んで狸が去る  
センサーライトで左右確かめ

竹内 娃子

牛舎にて飼料の値上げは語るまい  
何も知らない牛が聞くから

安藤 フヂ子

### 財部短歌会

湯けむりに手を取り消え行く老夫婦  
我が夢果たせず羨む姿

永岡 冴子

境内に響く太鼓の年の夜の  
動画に見入る過去と未来を

脇丸 洋子

## 薩摩狂句

### にがごい会末吉支部

焼酎すつが 身体が敵わじ  
心配なこと

浜田 一好

家内と 晩酌したち

古川 一幹

内気者 焼酎二合で

胡摩ヶ野 べぶまつ

焼酎つ飲んにや 山芋掘りは

桐野 奈世

### 大陽薩摩狂句会

我が至福 戦争で可哀相し

津留 群志

プーチンが 我が家ん繰いせ

境 すやすや

春じゃって テレビでな凄ませ

新屋 涼子

暗れニュース

西山 美代子

何時迄も 厄介な世

コロナコロナち